

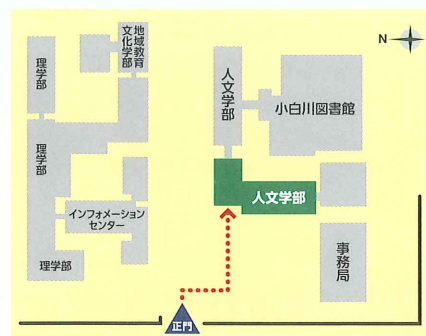


募 集 人 員 | 一般市民・大学生・高校生 30名
募 集 期 間 | 平成28年5月9日(月)～5月31日(火)
受 講 料 | 2,000円(大学生・高校生は無料)

お申し込み方法 | 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。
通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先 | 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL: 023-628-4203 E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会 場 案 内 | 山形大学人文学部1号館2階
205教室
大学正門を入って正面の建物です。
受付は人文学部玄関にて行います。



そ の 他 | 【公共交通機関ご利用のお願い】
現在、山形大学小白川キャンパスでは、
駐車場が非常に手狭になっております。
公開講座当日はできるだけ公共交通
機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利
用をお願いいたします。

シャトルバス運行時刻表

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/etc/bus> 参照

なお、山形駅行きの最終便は18:40発となっております。
また、山交バス県庁前→山形駅前行きの最終便は、南高前バス停19:42発、山形
～仙台間高速・都市間バス山形駅行きの最終便は、南高前バス停23:24発です。

この受領証は、郵便局で機械
処理をした場合は郵便振替の払
込みの証拠となるものですから
大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理し
ますので、本票を汚したり、折
り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

平成28年度山形大学公開講座 「人文学部」



平成28年度
山形大学公開講座 [人文学部]

山形大学人文学部附属映像文化研究所 共催

映画・写真・絵画・文学における

ドキュメンタリー と フィクション Documentary Fiction

平成28年 6月2日(木)～23日(木)

講義時間/毎回 午後6時30分～8時10分【計5回】

【場 所】 山形大学人文学部1号館2階 205教室

【対 象】 一般市民・大学生・高校生 定員30名

【受 講 料】 一般 2,000円 大学生・高校生 **無料**

【募集期間】 平成28年5月9日(月)～5月31日(火)

〈お問い合わせ先〉 山形大学人文学部事務室

電話: 023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

- 第1回 6/2 [木] ドキュメンタリーとしての写真
人文学部准教授 石澤 靖典
- 第2回 6/6 [月] 記録される死、再現される生
—現代映画における生と死の表象
人文学部准教授 大久保 清朗
- 第3回 6/13 [月] フィクションの書き方 —ジャリの場合
人文学部講師 合田 陽祐
- 第4回 6/20 [月] まこととうそ
—17世紀オランダ絵画の写実とは
山形大学人文学部附属映像文化研究所 元木 幸一
- 第5回 6/23 [木] 〈あの世〉をみてきた人びとの話
—近世仏教説話における極楽の諸相
人文学部准教授 宮腰 直人

Documentary & Fiction ドキュメンタリーとフィクション

講座の概要

山形大学人文学部では平成26年度から映像文化研究所を立ち上げ、山形から世界へ映像文化の意義を発信しています。本講座では、映像文化に関わるもっとも本質的な、映像の真実性・写実性の問題について考えてみたいと思います。記録映画は、本当に事実を「記録」しているのでしょうか。写真は現実をそのまま「写している」のでしょうか。その場合の「事実」や「現実」とは、いったい何のことなのでしょう？

このような問いは、実は、美術史や文学史においても追究されてきたものです。映像における「ドキュメンタリーとフィクション」の問題に迫るために、絵画や文学における「ドキュメンタリーとフィクション」についても考えてみましょう。多様な専門家の研究集団である映像文化研究所が、映像文化の本質を解き明かします。

第1回

6/2
[木]

ドキュメンタリーとしての写真

人文学部准教授 石澤 靖典



リアルな絵画を見て「まるで写真のようだ」ということがあります。一般的に写真は、現実の事物をありのまま記録する点に大きな特徴があると考えられているのです。しかし写真のイメージは、果たして本当に現実そのままといえるのでしょうか。また絵画や映画のような他のメディアと写真とは、記録としてのあり方に違いはあるのでしょうか。ドキュメンタリー写真と呼ばれるジャンルを中心に、現実と虚構の境界を探ってみましょう。

第2回

6/6
[月]

記録される死、再現される生 —現代映画における生と死の表象

人文学部准教授 大久保 清朗



映画の映像は、カメラが写しとった瞬間から現実から切りはなされていく。そして現前と不在との中間地帯ともいべき曖昧な領域へと漂い始める。現代映画において、もはやドキュメンタリーとフィクションという区分は無効化しつつある。むしろ問うべきは虚構と現実との対立ではなく生と死という、もっとも根源的な存在状態の表象だ。『ある朝の思い出』、『四つのいのち』、『割れたガラス』などをもとに、映画の生と死を考える。

第3回

6/13
[月]

フィクションの書き方 —ジャリの場合

人文学部講師 合田 陽祐



突出した才能があるだけでなく、想像力にも乏しい芸術家は、どうすれば生き残れるのでしょうか。この切実な問題を、フランスの作家アルフレッド・ジャリのケースを例に考えてみましょう。たとえば小説を書くさい、身の回りのものをとにかく何でも利用するという手があります。けれどそのとき、対象をそのまま用いたり描写したりするのは能がありません。ポイントは、現実をどのように加工して作品に取り込むかです。ジャリの意外なやり方を検討してみましょう。

第4回

6/20
[月]

まこととうそ —17世紀オランダ絵画の写実とは

山形大学人文学部附属映像文化研究所 元木 幸一



フェルメールの描く《ミルクを注ぐ女》をご存知ですか。ミルク、パン、陶器などの質感は本当に見事に、つまり本物そっくりに描かれていますね。17世紀オランダのレンブラントも、そして風景画の巨匠ロースダーも、いずれも劣らず本物そっくりといえるかもしれません。ですが、彼らは本物を単にそのまま描いたのでしょうか。あるいは、そっくりというのはどのように描くことなのでしょう。オランダ絵画の写実性の謎を解明したいと思います。

第5回

6/23
[木]

〈あの世〉をみてきた人びとの話 —近世仏教説話における極楽の諸相

人文学部准教授 宮腰 直人



日本古典文学には、何らかの理由で〈あの世〉へ行ってきた人が蘇り、その様子を語るという、地獄極楽遍歴譚という物語の一群があります。今回は、東北を舞台とする近世仏教説話を出発点にして、文学における〈ドキュメンタリー〉と〈フィクション〉の問題を取り上げます。東北の人びとは、どんな思いで極楽や地獄を見聞してきた人の話を受け入れ、語り継いだのでしょうか。怖くも、懐かしい近世仏教説話とその視覚文化の魅力を探ります。

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担								
口座記号番号																			
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
																2	0	0	0
加入者名 ※「映画・写真・絵画・文学におけるドキュメンタリーとフィクション」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ※払い込み済みの受講料は返金できませんのでご注意ください。 ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)											料金	備考							
おとこ (郵便番号)											日 附 印								
※おなまえ											様								
(電話番号)											日 附 印								
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙8982号)												これより下部には何も記入しないでください。							

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					2	0	0	0
おなまえ ※	様							
依頼人	様							
料金	日 附 印							
備考								

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。